

山本 友子 の県議会報告



千葉県議会議員
山本友子

発行：県議会議員 山本友子 〒290-0073 市原市国分寺台中央7-1-5 C1

電話 0436-21-1907 Fax21-9073 e-mail i.shimin-net@shore.ocn.ne.jp

ブログ検索 →「山本友子の県議会日記」



千葉県議会 決算委員会 (10/19)

2011年度 千葉県決算総額 2兆3518億円

決算委員会 (10/19~11/16 のうちの7日間)

予算の審議を行い、教育・福祉・医療・環境・警察・雇用・農業・企業庁など、多岐にわたって指摘しました。

児童虐待やDVなど、千葉県でも増加しています。雇用環境も相変わらず厳しく、若者は仕事に就くのが難しくなっています。学校の先生にも非正規雇用が増えています。安心して暮らす、働く環境整備を求め、発言しました。

■増える児童虐待

相談所の老朽化



千葉県中央児童相談所
Tel: 043-253-4101

児童虐待が増え続けています。千葉県内には6箇所の相談所がありますが、そのひ

少。一方、欠員補充講師は1402人、5年間で638人増加しました。退職後の再任用(※再雇用のこと)や臨時採用教員を初めから当てにしている新学期をスタートするのでなく、まずは法定数を満たした正規の先生を、その教育に当たるべきです。教師の身分を安定させ、安心してめどりをもち、子どもに接していただくのびのびとした教育が実現します。

■県立高校の

A・T教師の増員を！

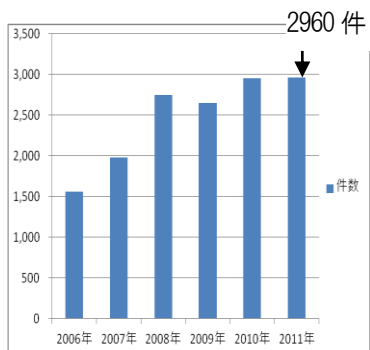
県下でも英語科のある9校では各校にA・Tが配属されているので、日常的に英語に触れることができず、しかしその他の116校の県立高校に派遣されるA・Tは県下で30名のみ。高校では1年生が生の英語に触れるのは週一回、1時間だけです。これでは英語アレルギーはなくなり、国際化もめどませません。A・Tの増員を図るべきです。

■DV・ストーカー対策

千葉県警に、もっと女性を！

■小中高・特別支援学校には、正規雇用の先生を！

平成23年の千葉県の正規教員数は3万5482人。5年間で198人減



県内児童相談所の児童虐待相談件数

長崎のストーカーによる母娘殺人事件の反省から、県警は再発防止と被害者の訴えを真摯に聞くため、政策決定できる場に女性警察官を10%増やす、と宣言しました。しかし決算委員会では、委員会室

■政策アドバイザーは、何をしよう？

千葉県には、知事直属の政策アドバイザーが2人います。A氏は、一日登庁すると3万円(年間138日出勤して436万円)。もう一人は2万5千円(年間206日出勤して556万円)。A氏の仕事は、「国に対する情報発信、情報収集、首都圏の連携に関すること」、B氏は「マニフェストの政策化情報発信に関すること」と記載されています。その身分は条例や要綱で規定されてもいません。「説明のつかない不透明なアドバイザーの存在を許していいのか」ということで質問しました。

千葉県射撃場の鉛除去 請願は不採択



千葉県射撃場(市原市古敷谷)

千葉県射撃場は周辺の水から環境基準を超える鉛が検出され平成11年に封鎖されました。その後、県は推計約600トンの鉛散弾のうち、471トンを除去了。終了しました。

今年の6月議会に屋内射撃場を再開するという条例が通り、地元は反発を強めました。地元住民は、事業所内に残っている鉛の残量の再調査と住民に対する納得のいく説明を求め、知事へ要望書、9月県議会へ請願書を出しました。請願は残念ながら不採択。地元はその後の説明会でも「再調査・鉛対策をしないならば、射撃場再開は認められない」と頑張っています。

シートズ 11
ひとこま・ともこ



2012.11.1
ともこ画